

ルネサンス

(解答)

☆¹ フィレンツェ 共和国：トスカナ地方の都市共和国。ルネサンス（古代ギリシア・ローマの文芸復興）の中心。

13c ギベリン 皇帝派の貴族を、ゲルフ 教皇派の大商人が追放、共和政に。

14c 詩人² ダンテ：『神曲』は³ トスカナ 語の大叙事詩。

詩人⁴ ペトラルカ：ラテン文学研究から^{ヒューマニズム} 人文主義へ。『叙情詩集』

作家⁵ ボッカチオ：『デカメロン（十日物語）』で人間性を肯定。

14c 大商人の政権に対し、下層市民の不満高まる。

1378 チオンピの乱：下層市民の反乱を鎮圧。

15c 銀行家⁷ コジモ 家が下層市民の支持で台頭。建築家⁸ ブルネレスキ：サンタ=マリア大聖堂大ドーム **B**

・コジモ

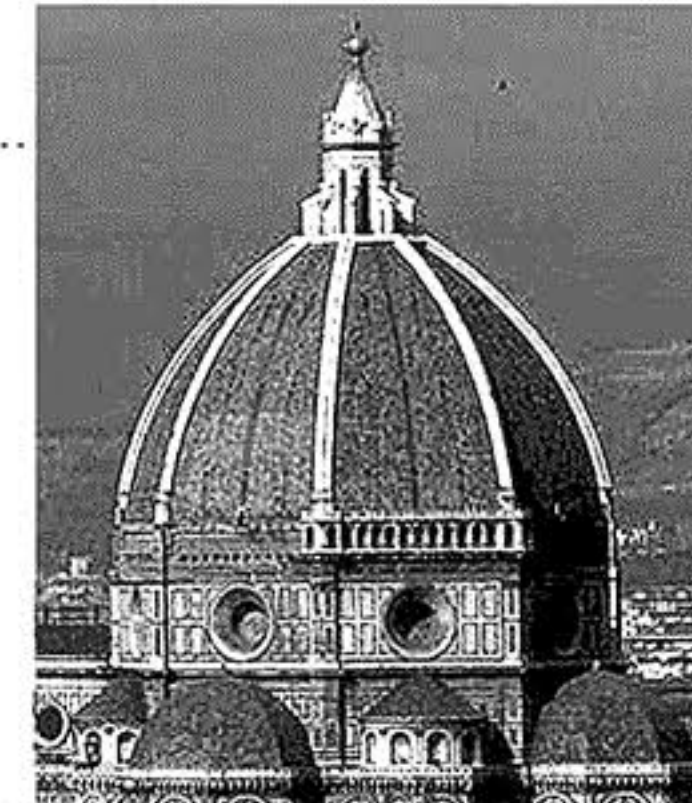
：銀行頭取、国家元首。事実上の僭主。

莫大な私財を公共事業に投じる。

・ロレンツォ

： “豪華王” 。芸術家たちの^{パトロン} 保護者。

東ローマからの亡命学者を保護し、
プラトン=アカデミーを主催。



画家⁶ ジョット

『聖フランチェスコの生涯』**A**



彫刻家ドナテルロ：『ダヴィデ』『洗礼者ヨハネ』

画家マザッチョ：遠近法を確立。近代絵画の祖。『楽園追放』**C** 『三位一体』



C



D



E

1492 ロレンツォの死：メディチ家衰退のはじまり。 画家⁹ サヴォナローラ：ギリシア神話を題材に『春』**D** 『ヴィーナスの誕生』**E**

1494 仏王シャルル8世のイタリア侵入

彫刻家¹² ミケランジェロ：『ダヴィデ』**F**

⇒修道士¹⁰ マキアヴェリ の神権政治

画家¹³ レオナルド：万能の天才。戦乱の中、各地を放浪、仏で没す。

⇒破門され、火刑に(1496)。フィレンツェ共和国復活。

^{ばんさん}
『最後の晩餐』**G** 『モナ=リザ』**H**

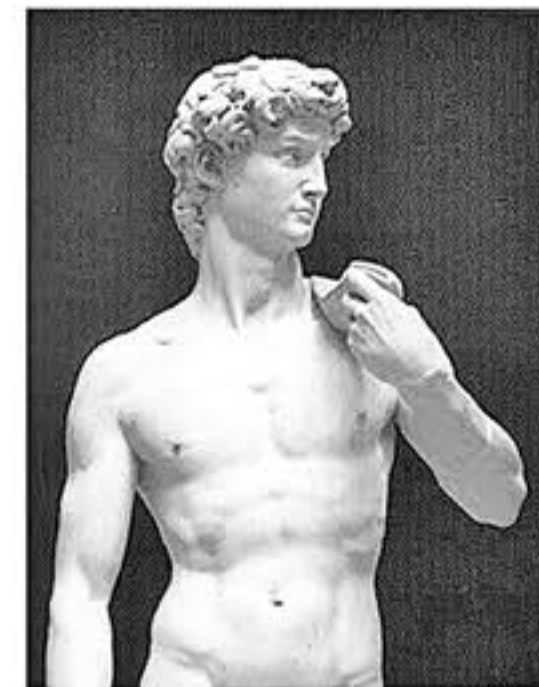
政治学者¹¹ マキアヴェリ

：近代政治学の祖。イタリア統一の急務を説く。

『ローマ史論』：共和政ローマの研究。

『君主論』：君主政の比較。政治と道徳を分離。

“君主には、狐の狡猾さと獅子の勇猛さが必要”



F



G



H

¹ フィレンツェ

² ダンテ

³ トスカナ

⁴ ペトラルカ

⁵ ボッカチオ

⁶ ジョット

⁷ メディチ

⁸ ブルネレスキ

⁹ ボッティチェリ

¹⁰ サヴォナローラ

¹¹ マキアヴェリ

¹² ミケランジェロ

¹³ レオナルド

=ダ=ヴィンチ

☆ローマ：ルネサンス期の教皇は、信仰よりも領土拡大と文芸保護に熱心。

✚アレクサンデル6世：サヴォナローラを破門(1496)。息子チェーザレ=ボルジアが武力で教皇領を拡大。

✚ユリウス2世：¹⁴大聖堂Ⅰ改築を、建築家¹⁵に命ず(1506)。

画家¹²：システィナ礼拝堂天井画『天地創造』、壁画『最後の審判』J

画家¹⁶：優美な聖母子像多数。『アテネの学堂』

✚¹⁷：メディチ家出身。大聖堂改築のため贖宥状しよくゆうじょうを販売。(⇒宗教改革)

1521-¹⁸戦争：皇帝カール5世と仏王フランソワ1世がイタリアで戦う。

⇒皇帝軍のドイツ人傭兵によるローマ略奪(1527)⇒イタリア=ルネサンスの終末。

1530 フィレンツェ陥落⇒共和政崩壊、メディチ家の専制政治(トスカナ大公国)。

✚パウルス3世：反宗教改革。イエズス会認可、英国王を破門。宗教裁判所を常設。



I



J

☆西欧ルネサンス：イタリア戦争後、ルネサンスの中心はアルプス以北の国々へ。

蘭¹⁹：『愚神礼賛』(1509)で教会批判、宗教改革に影響。「エラスムスが産んだ卵を、ルターが孵かえした」

西²⁰：レパント海戦に参加。『ドン=キホーテ』で騎士道を笑う。独ロイヒリン：ヘブライ語の聖書研究。ユダヤ人を擁護。

仏²¹：巨人物語『ガルガンチュアとパンタグリュエル』。仏²²：『随想録(エッセー)』で寛容の精神を説く。

英²³：『カンタベリ物語』は最初の英文学。英国版デカメロン。英²⁴：『ユートピア』で囲い込みエンクロージャーを批判。

英²⁵：悲劇『ハムレット』『オセロー』『マクベス』『リア王』ヘンリ8世の首長法に反対して、刑死。



K

万²⁶兄弟



L

万²⁷：農民画家。



M

独²⁸：宗教画「四使徒」M



N

独²⁹：



O

：「エラスムス像」N、「ヘンリ8世の肖像」O

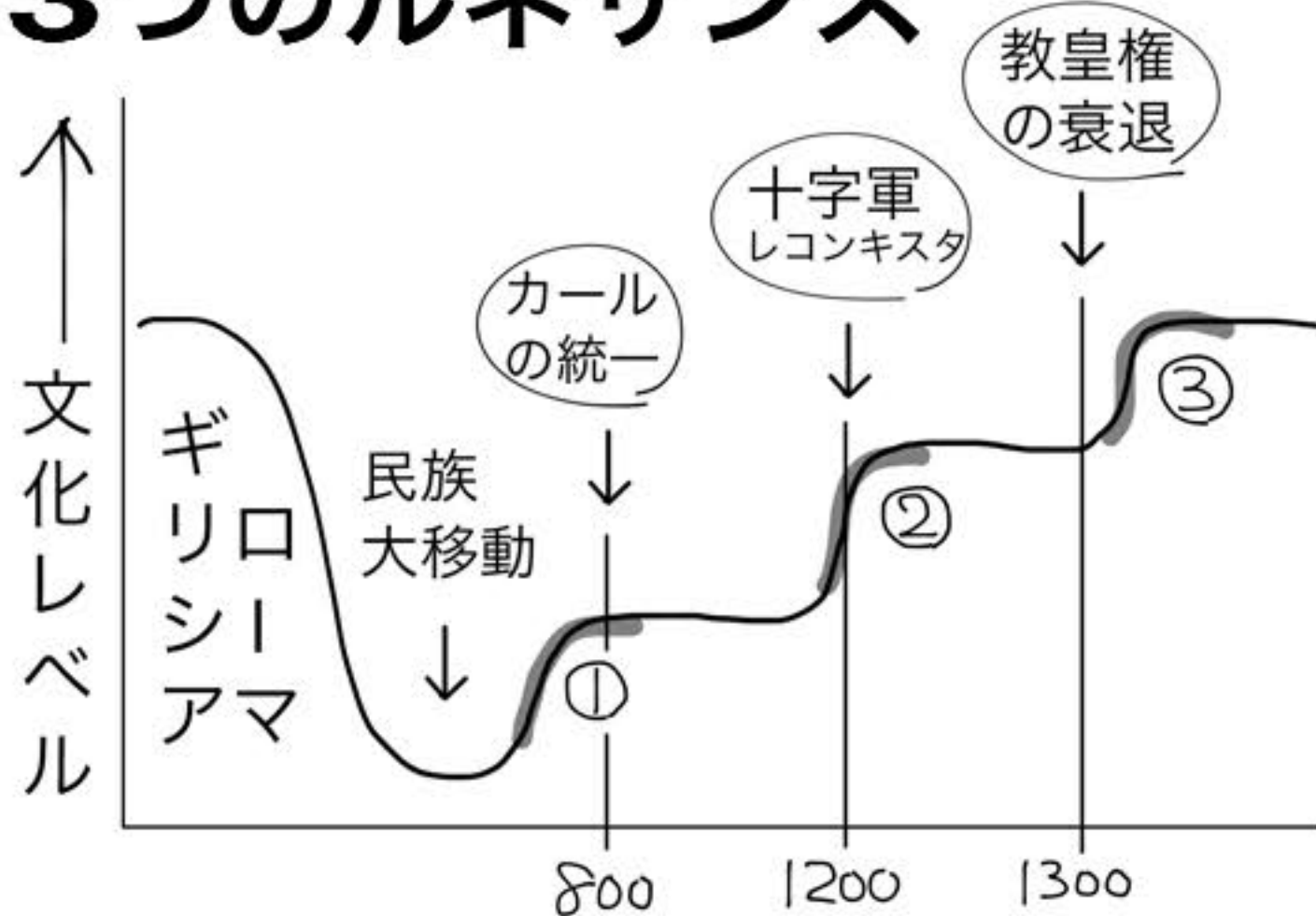
：油絵技法を完成。K

庶民を描く。「百姓の踊り」L

☆三大発明：火薬・羅針盤は、宋代中国で発明。イスラムを経て西欧へ。活版印刷は独ゲーテンベルクが発明(1450)(⇒宗教改革)

- 14 サン=ピエトロ
- 15 ブラマンテ
- 16 ラファエロ
- 17 レオ10世
- 18 イタリア
- 19 エラスムス
- 20 セルバンテス
- 21 ラブレ
- 22 モンテーニュ
- 23 チョーサー
- 24 トマス=モア
- 25 シェークスピア
- 26 ファン=アイク
- 27 ブリュゲル
- 28 デューラー
- 29 ホルバイン

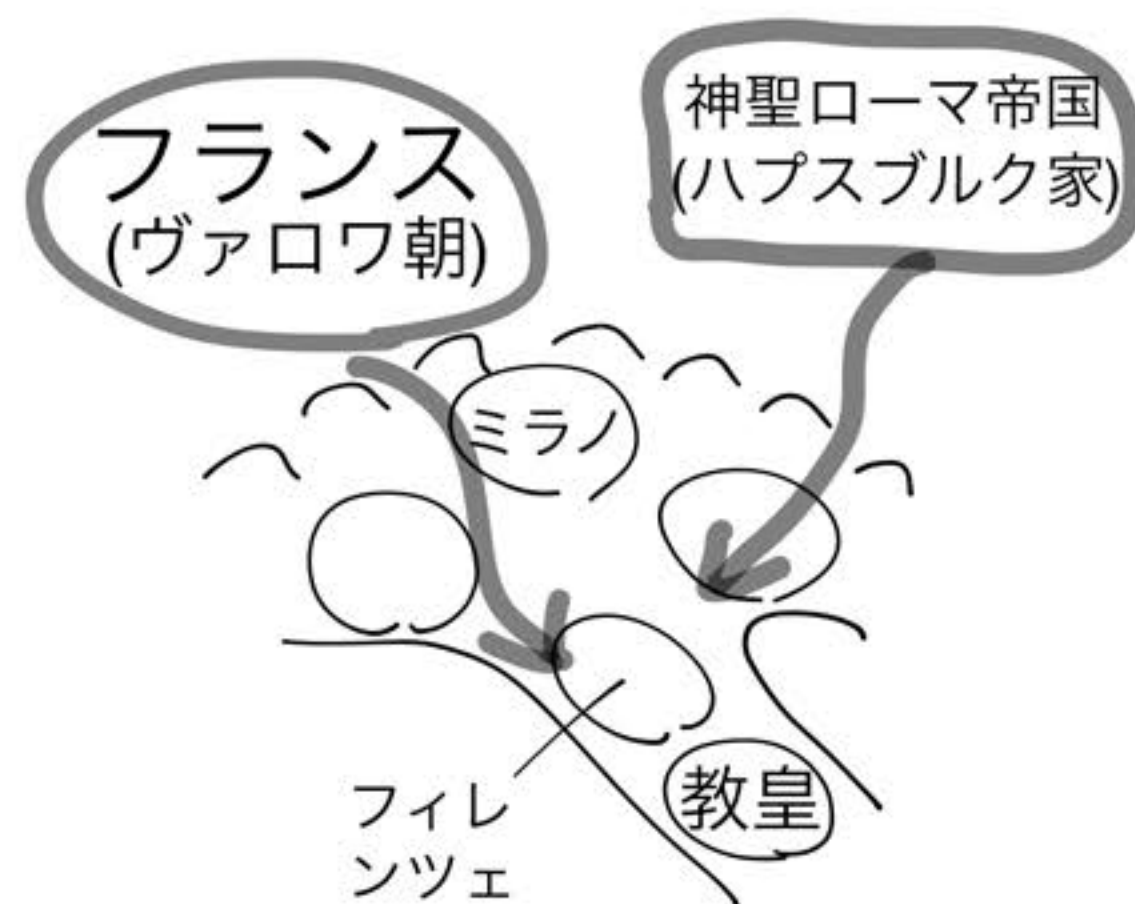
3つのルネサンス



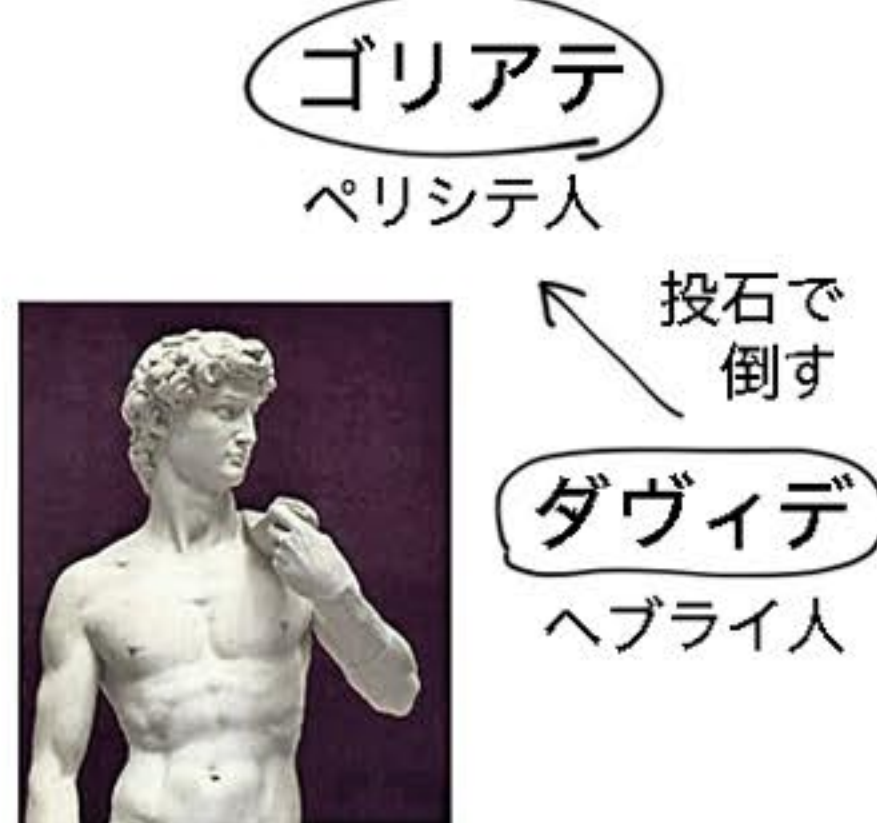
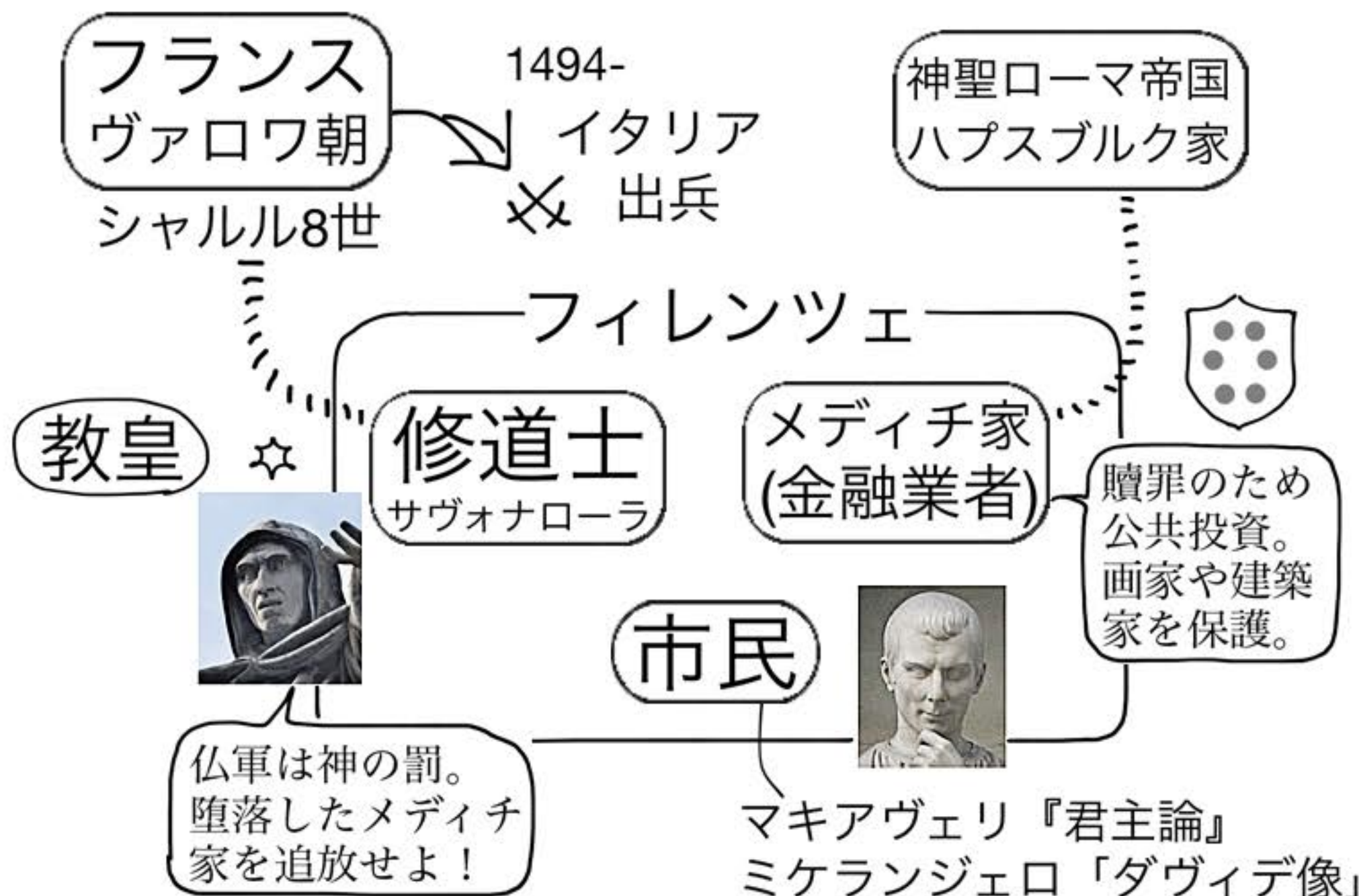
- ① カロリング=ルネサンス...ラテン語教育
- ② 12世紀ルネサンス...神学(スコラ学)
- ③ イタリア=ルネサンス...文学(人文主義)



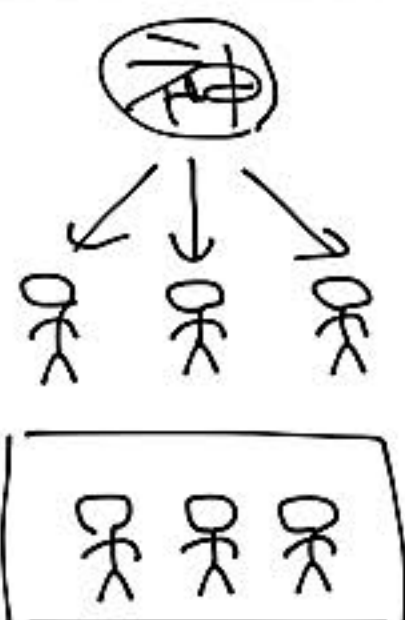
- ① バグダードの「知恵の館」(ギリシア語⇒アラビア語)
- ② イベリア半島のトレド(アラビア語⇒ラテン語)⇒12世紀ルネサンス



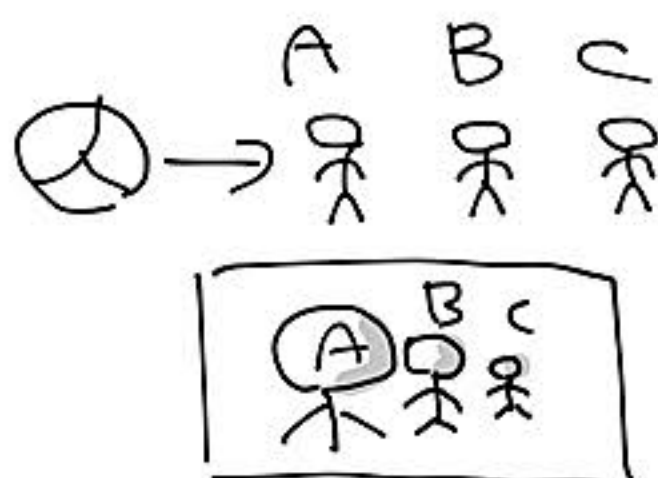
イタリア戦争とフィレンツェ



中世絵画



ルネサンス (遠近法)



ルネサンス期のフィレンツェについて、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
『君主論』 『ダヴィデ』 サヴォナローラ

イタリア-ルネサンスの展開について、以下の語句を用いて120字以内で説明しなさい。
教皇権 メディチ家 『愚神礼賛』 遠近法

ルネサンスの文学

ダンテ『神曲』…トスカーナ語(俗語)の叙事詩



▲ 森をさまようダンテ

序曲
森の中



▲ ダンテを導く
ヴェルギリウス

天国
33曲

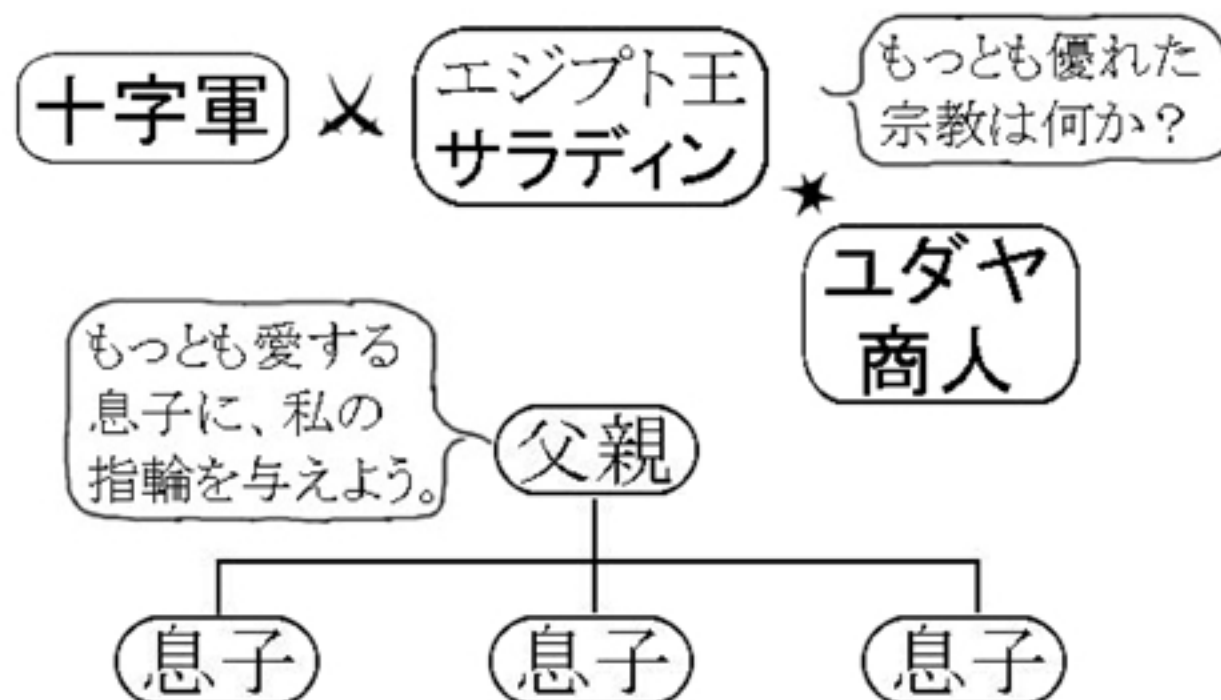


▲ ダンテを導く
ベアトリーチェ

煉獄
33曲

地獄
33曲

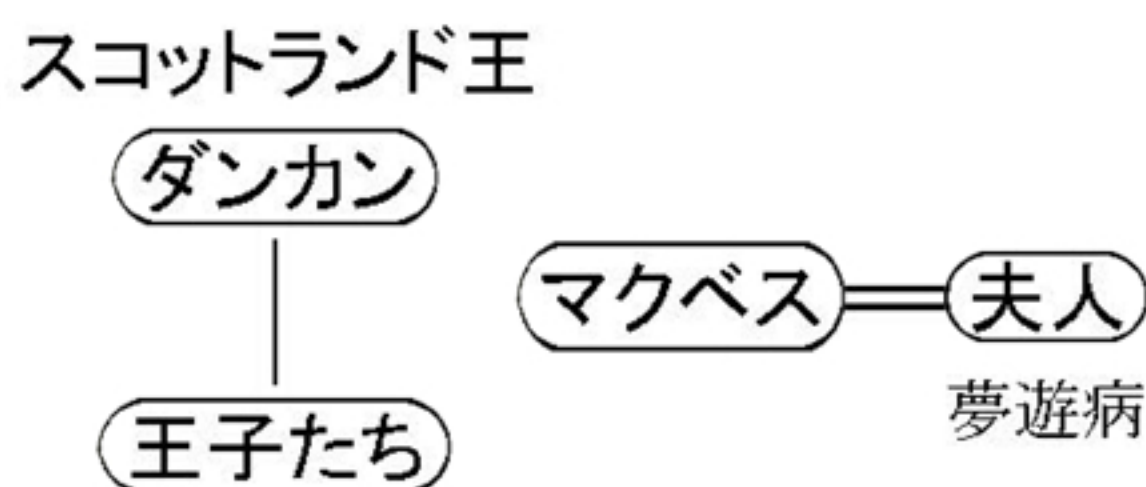
ボッカチオ『デカメロン』



セルバンテス『ドン=キホーテ』



シェークスピア『マクベス』



▲ 3人の魔女の予言
を聞くマクベス

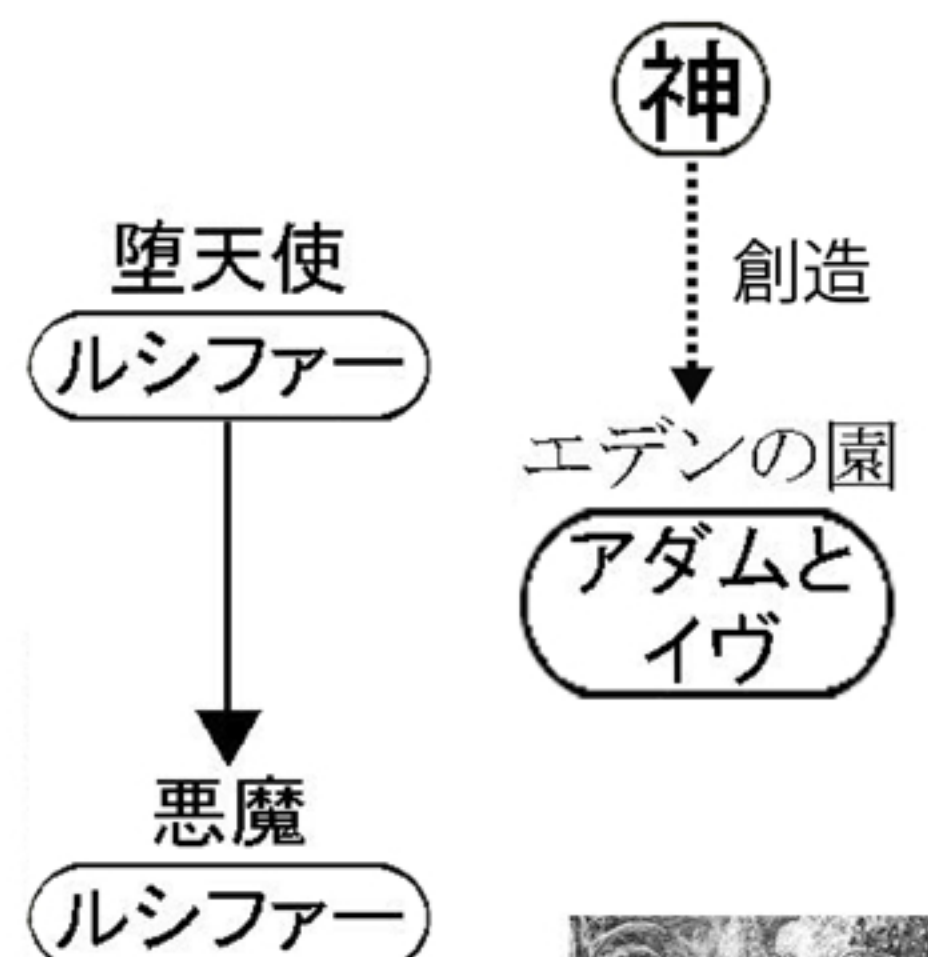
3人の魔女の予言

- ・マクベスが次の王。
- でも、その次の王は、マクベスの子ではない。
- ・マクベスは倒れない。
- バーナムの森が動かぬ限りは。

ミルトン『失楽園』



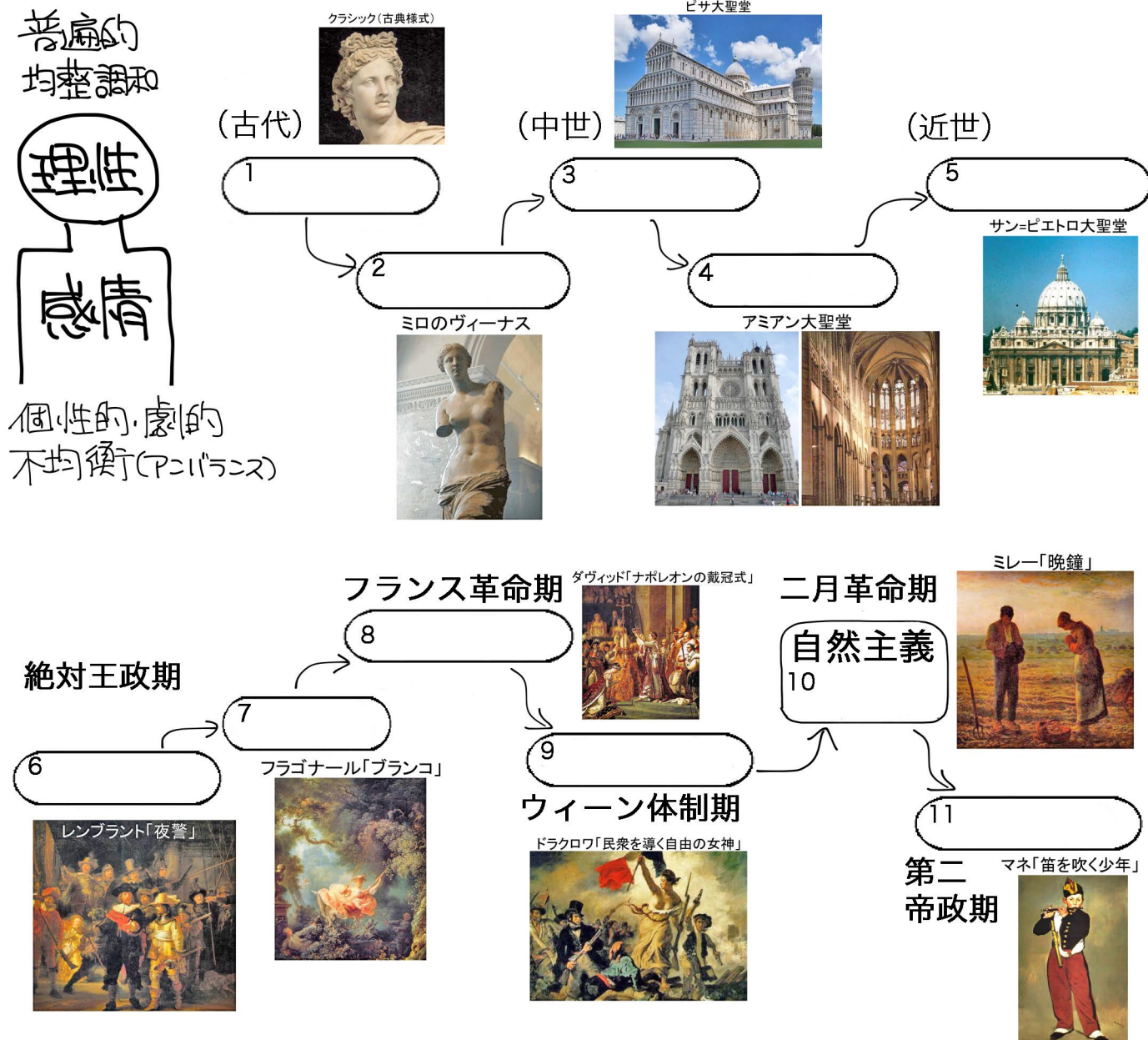
▲ 墮天使ルシファー



▲ 楽園に忍び寄る蛇

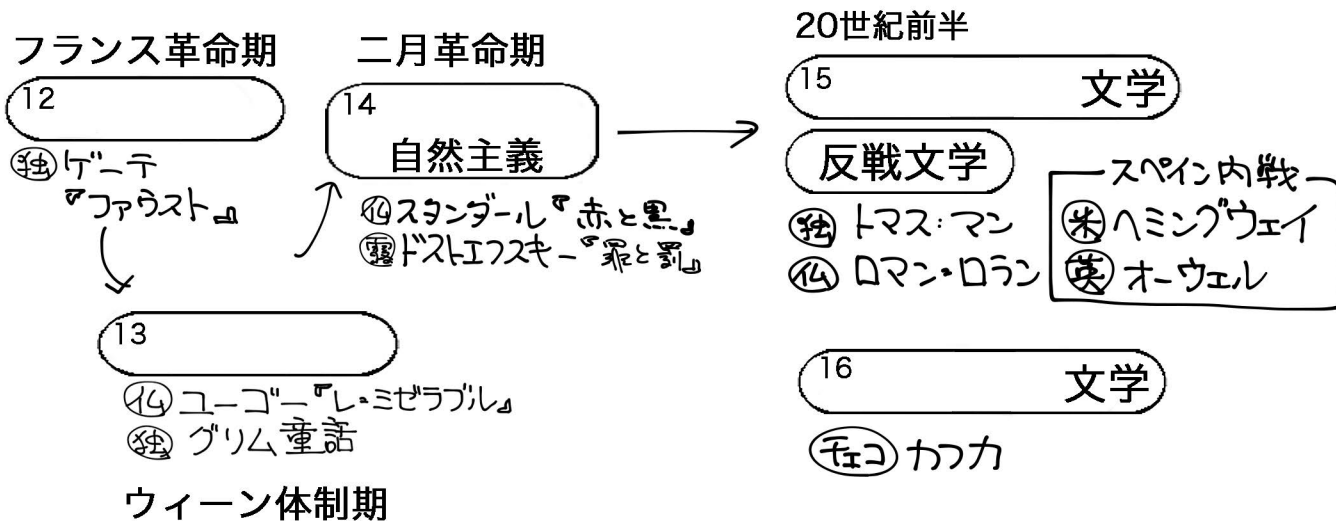
西欧美術史の流れ

1 古典主義 2 ヘレニズム 3 ロマネスク 4 ゴシック 5 ルネサンス
6 バロック 7 ロココ 8 新古典主義 9 ロマン主義 10 写実主義 11 印象派



西洋文学史の流れ

12 古典主義 13 ロマン主義 14 写実主義 15 プロレタリア 16 実存主義



絶対王政期の文化

ルネサンス

ダヴィンチ「受胎告知」



バロック

エルグレコ「受胎告知」



バロック
いびつな真珠



A



B



C

①美術

17世紀 ¹ 様式：豪壮華麗。強大な王権を象徴。

ルイ14世の² 宮殿A：内装がバロック様式。

西³：宮廷画家。「ブレダの開城」B、「女官たち」C

西⁴：宗教画家。「受胎告知」、「オルガス伯の埋葬」

西ムリリヨ：暖かい色彩で下層民を描く。「乞食の少年」

万⁵：ネーデルラント総督の宮廷画家、外交官。

「マリ=ド=メディシスの生涯」、「キリスト降架」D

万⁶：英王の宮廷画家。「狩場のチャールズ1世」E

蘭⁷：光と影の画家。市民の肖像が多数。「夜警」F

蘭フェルメール：室内画。独特の陰影と青。「青いターバンの少女」G



E



F

ロココ

貝殻・植物の繊細な文様



H

万 フランドル（ベルギー）



G

18世紀 ⁸ 様式：繊細優美。宮廷文化の洗練。

普フリードリヒ2世の⁹ 宮殿H：ポツダムの私邸。

仏¹⁰：田園風景、宮廷風俗。「シテール島への船出」I

仏フラゴナール：官能的な宮廷画。仏革命で没落。「ぶらんこ」J



I



J

②文学

.....17世紀フランス古典主義文学：古代文学を模範に普遍的な人間像を描く。

☆¹¹ _____ (フランス学士院)：宰相リシュリューが創設。

⇒統一国家の国語として仏語を統一・純化し、『アカデミー辞典』を編纂。

仏 コルネイユの悲劇『ル=シッド』、ラシーヌの悲劇『アンドロマク』

仏¹² _____：喜劇を完成。『タルチュフ』、『人間嫌い』、『守銭奴』

.....17世紀 英ピューリタン文学／風刺文学：市民階級のための文学。

英¹³ _____：クロムウェルの秘書。失明し、王政復古で逮捕、財産没収。

楽園追放をテーマに、叙事詩『失樂園(Paradise Lost)』を口述。
てんろ れきてい

英¹⁴ _____：ピューリタン革命に参加。『天路歷程』でピューリタン精神を描く。

英¹⁵ _____：『ロビンソン=クルーソー』で人間の不屈の精神を描く。

英¹⁶ _____：アイルランド出身。『ガリバー旅行記』は憎悪に満ちた風刺小説。

③世論形成の場：市民革命の思想はここから広まる。

仏 サロン：上流階級が、政治・文学を語る社交場。

仏 カフェ：身分に関わらず、政治・文学を語る場。

(英のコーヒーハウスも同じ)

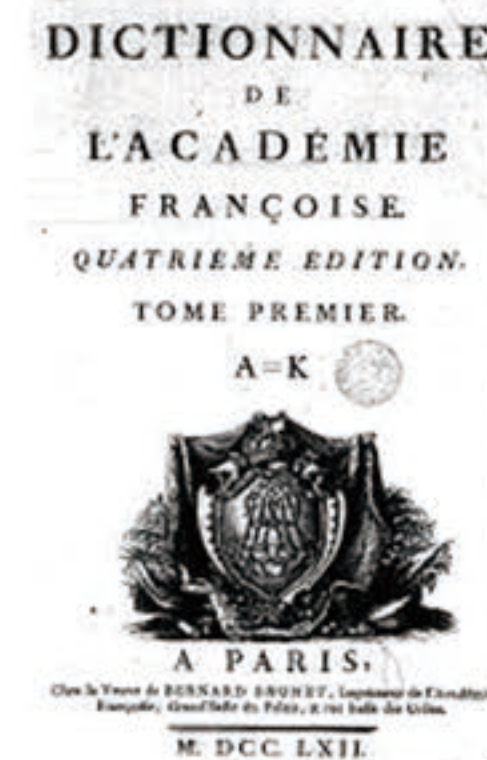
④音楽：18世紀前半がバロック音楽、後半が古典音楽。

独 バッハ：“近代音楽の父”。教会音楽多数。

独 ヘンデル：ジョージ1世に仕え、渡英。『救世主(メサイア)』

奥 ハイドン：“交響国の父”。古典音楽を確立。

奥 モーツァルト：早熟の天才。『フィガロの結婚』、『魔笛』
まてき



リシュリュー

▲ アカデミー辞典
：フランス語の統一と
普及に寄与した。



カルヴァン

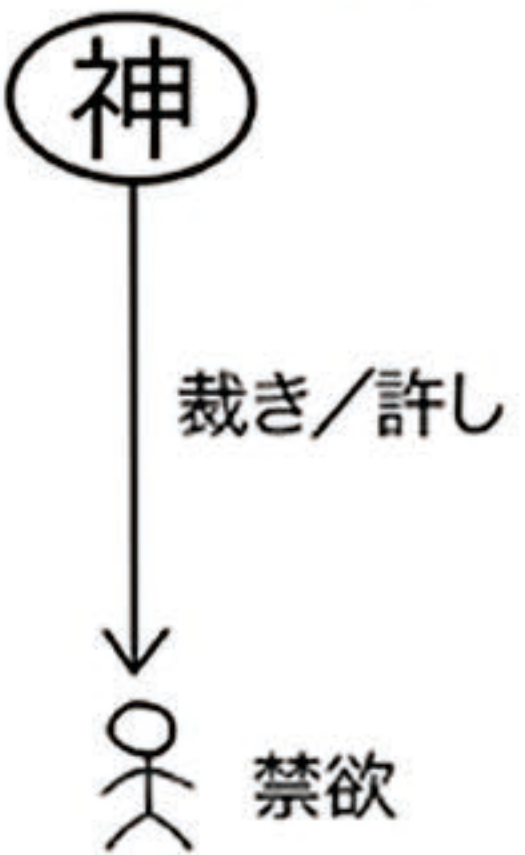


クロムウェル

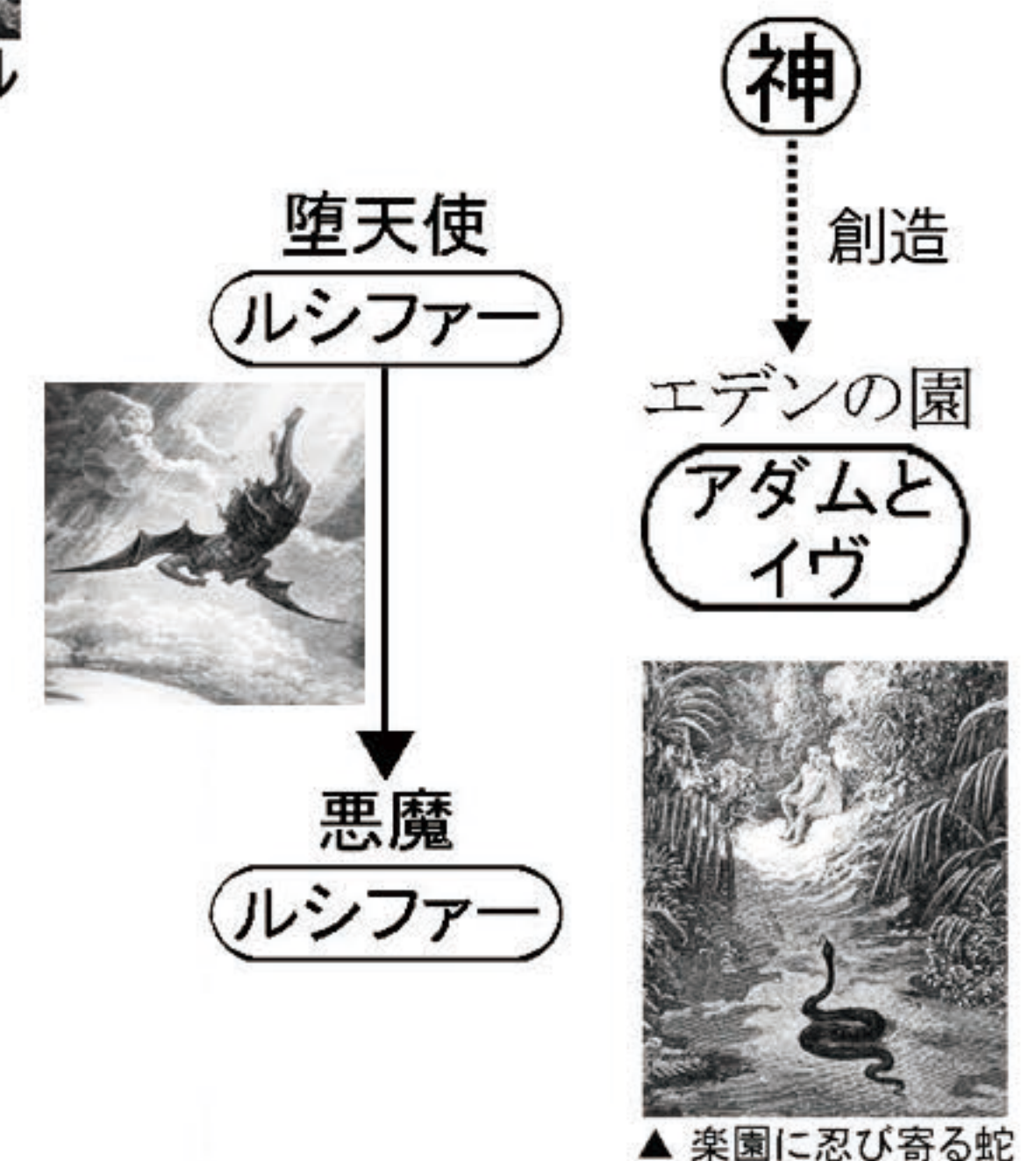
カトリック



プロテスタント



ミルトン『失樂園』



▲ 楽園に忍び寄る蛇

(解答)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. バロック | 9. サンスーシ |
| 2. ヴェルサイユ | 10. フトー |
| 3. ベラスケス | 11. アカデミー
= フランセーズ |
| 4. エルグレコ | 12. モリエール |
| 5. ルーベンス | 13. ミルトン |
| 6. ファン=ダイク | 14. バンヤン |
| 7. レンブラント | 15. デフォー |
| 8. ロココ | 16. スウィフト |

近代哲学思想 (17～20世紀)

17-19c 近代哲学：宗教的抑圧からの解放。理性万能の時代。

大陸合理論：理性を信じ、数学的方法で真理を導く演繹法

独¹ _____：『方法叙説』(1637) “我思う、ゆえに我あり” ⇨

⇨ 蘭スピノザ、独パスカル、独ライプニッツ

19c- ドイツ⁷ _____ 論：経験論と合理論とを総合

独⁸ _____：『⁹ _____』(1781)で理性の限界、

『永久平和のために』(1795)で国際連盟を説く。

独¹⁰ _____：仏革命に共感。ナポレオン戦争後は民族主義へ転向。

講演「ドイツ国民に告ぐ」。ベルリン大学初代総長。

独シェリング：ロマン主義の影響で、理性と自然の融合を説く。

独¹¹ _____：真理は矛盾を克服して発展する (¹² _____ 法)

世界史は絶対精神の展開。『精神現象学』 ⇨

英国経験論：感覚を信じ、実験観察から真理を導く帰納法

英² _____：『新オルガヌム』で経験論を確立。

⇨ ホッブズ、ロック (『人間悟性論』) が継承、社会契約説へ。

19c- ³ _____ 主義：道徳も科学的に計量化できる

英⁴ _____：“最大多数の最大幸福” ⇨ 第1回選挙法改正。

英⁵ _____：『自由論』(1859)は自由主義の古典。

英⁶ _____：社会進化論の祖。宇宙生成から人間社会まで。

19c- ヘーゲル左派：観念論批判、唯物論へ (⇨ エピクロス)

独¹³ _____：唯物論から宗教を説明。『キリスト教の本質』

独¹⁴ _____：ユダヤ系。ヘーゲルの弁証法と唯物論を融合。

⇨ 生産力と生産関係から歴史を説明する ¹⁵ _____。

英古典派経済学と独社会主義を批判して共産主義を説く。

『ドイツイデオロギー』『共産党宣言』(1848)『資本論』(1867)

Rationalism

大陸合理論
(演繹法)

数学的推論で証明
できることは正しい。



デカルト『方法叙説』

Empiricism

イギリス経験論
(帰納法)

実験・観察(経験)で証明
できることは正しい。



フランシス=ベーコン
『新オルガヌム』

Idealism

ドイツ観念論

- ・純粋理性…人間が先験的(先天的)に持つ認識能力。
これに経験が加わって正しい判断ができる。
- ・実践理性…経験しなくても真理を判断できる能力。道徳。



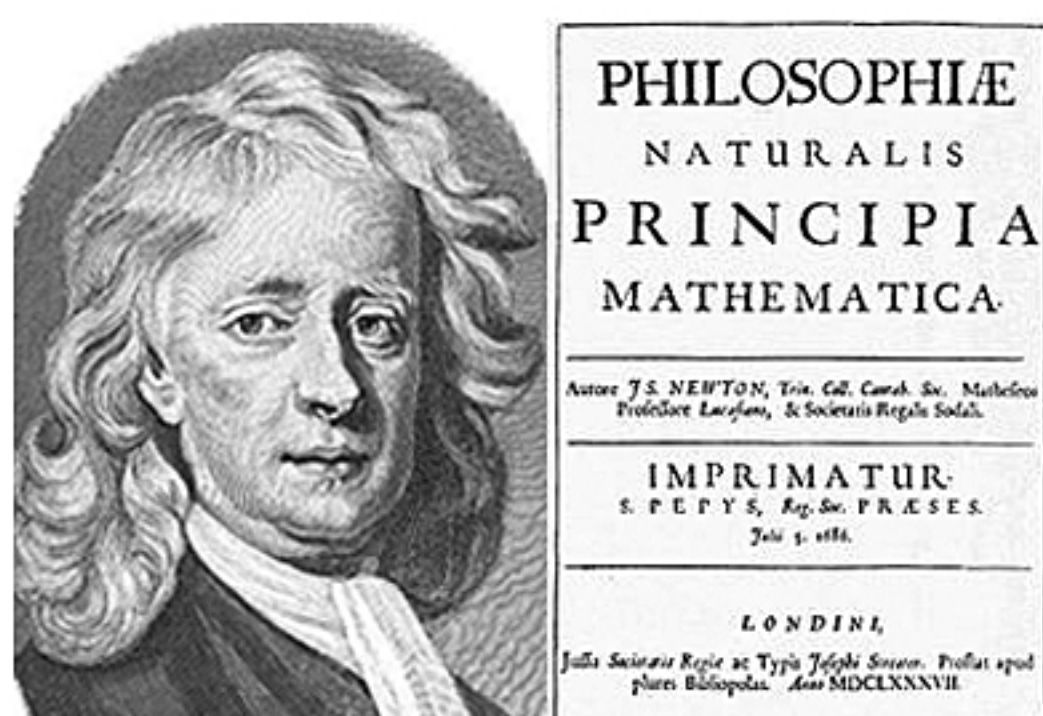
カント『純粋理性批判』

哲学思想史 (17～20世紀)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 デカルト | 9 純粋理性批判 |
| 2 フランシス=ベーコン | 10 フィヒテ |
| 3 功利 | 11 ヘーゲル |
| 4 ベンサム | 12 弁証 |
| 5 J. S. ミル | 13 フォイエルバッハ |
| 6 スпенサー | 14 マルクス |
| 7 観念 | 15 唯物史観 (史的唯物論) |
| 8 カント | |

☆科学革命:17世紀を中心とする近代科学の確立と世界観の大転換。

- ポ¹ :『天球の回転について』で太陽中心説(地動説)を論証。
伊² :地動説と汎神論を唱え、ローマの宗教裁判で火刑に。
伊³ :天体観測により地動説を支持。宗教裁判で自宅軟禁に。
独⁴ :三十年戦争の時代、ベーメン王に仕え、惑星の運動法則を発見。
英⁵ :心臓ポンプ説、血液循環の理論、チャールズ1世の侍医に。
カ⁶ :動植物の分類学。学名の付け方(○○属○○科)を確立。
英⁷ :『プリンキピア(諸原理)』(1687)で万有引力と古典力学を確立。



▲ ニュートン『プリンキピア』
(自然哲学の数学的諸原理)

汎神論



神は宇宙に遍在する。
宇宙すなわち神である。

理神論



神が定めた自然法則に従い、
自動機械のように動き続ける。

- (解答)14.フランクリン 15.ヴォルタ
16.ファラデー 17.マックスウェル
18.ヘルムホルツ 19.ラヴォワジエ
20.レントゲン 21.キュリー
22.アインシュタイン



電磁気学

- 米¹⁴ :雷が電気であると証明。米独立戦争時の外交官。
伊¹⁵ :塩水と金属板で電池を発明(1800)⇨電圧V(ヴォルト)。
仏アンペール:電気が磁界を発生することを発見⇨電流A(アンペア)。
英¹⁶ :電気モーター(1821)、発電機(1831)を開発。
電気分解の法則、電磁誘導の法則を発見。
英フレミング:電流・磁界・力の関係を“左手の法則”で説明。
英¹⁷ :電磁気学を4つの方程式にまとめる。

熱力学

- 独マイヤー・独¹⁸ :熱=力のエネルギー保存の法則を発見。(⇨内燃機関の開発)

化学

- 仏¹⁹ :燃焼理論。「酸素」を命名。フランス革命で刑死。
独リービヒ:有機科学の基礎理論を確立。窒素肥料の開発。

原子物理学

- 独²⁰ :X線(95)⇨²¹夫妻:ラジウム。
独²² :ユダヤ系。『特殊相対性理論』を発表(1905)。
⇨光速不変の原理から時空の相対性を導き、ニュートン力学を修正。
⇨ナチスに追われ、米大統領に原爆開発を進言。戦後は反核運動。
独ボーア・独ハイゼンベルク:量子力学と不確定性原理。



音声解説
科学革命
医学・生物学

近代科学思想

- (解答)1.コペルニクス 2.ジョルダノー=ブルーノ 3.ガリレオ=ガリレイ
4.ケプラー 5.ハーヴェイ 6.リンネ 7.ニュートン 8.ジェンナー
9.パストゥール 10.コッホ 11.北里柴三郎 12.メンデル 13.ダーウィン

医学・生物学

- 英⁸ :天然痘ワクチン(種痘法)を開発。
仏⁹ :乳酸菌を発見。低温殺菌法、狂犬病ワクチン。
独¹⁰ :結核菌・コレラ菌を発見。ツベルクリン開発。
日¹¹ :¹²イェルセンと同時にペスト菌を発見。
英フレミング:青カビから抗生物質ペニシリンを開発。
独¹² :エンドウマメの交配実験。遺伝の法則を提唱。
英¹³ :『種の起源』(1859)で進化論を提唱。

科学技術

- 英ベッセマー:クリミア戦争中、転炉を発明。鋼鉄を大量生産。
独クルップ:普仏戦争に貢献、製鉄・兵器・造船の独占企業に。
独²³ :電気機関車(79)、海底ケーブルで独占企業に。
米²⁴ の電信(37)⇨²⁵ の電話(76)。
米²⁶ の蓄音機(76)⇨²⁷ の無線(95)。
独²⁸ のガソリン自動車(85)。
独ディーゼルの軽油自動車⇨ライト兄弟の飛行機(1903)。
独²⁹ :黒色火薬に代わるダイナマイトを開発。
⇨莫大な遺産を投じて²⁹ 賞を創設(1901-)。
独ハーバー:大気中の窒素を取り出すハーバー・ボッシュ法を確立。
⇨第一次大戦で独の毒ガス作戦を指揮。
独³⁰ フェルミ、³⁰ :米のマンハッタン計画を指揮。原子爆弾を開発(45)。

- 23.ジーメンス 24.モールス 25.ベル 26.エディソン
27.マルコーニ 28.ダイムラー 29.ノーベル 30.オッペンハイマー